

中小企業あきた

- 1 官公需受注対策懇談会(県南会場・県北会場)を開催 1
- 2 農商工商品化研究開発事業を開催 2
- 3 平成26年度本会助成事業実施組合を募集 3

- 特別企画 先進事例を見る 4
- 会員組合探訪 5
- 景況レポート7月分 6
- 話題の広場
中央会事業より 7
アラカルト 7
中小企業組合等支援施策情報 8
支援団体活動レポート 9
組合ティールーム 9
インフォメーション 10



TOPICS 1 官公需受注対策懇談会 (県南会場・県北会場)を開催

7月22日(月)、横手市の「横手セントラルホテル」において、また、翌23日(火)には、北秋田市の「ニューグランドホテル松鶴」において、官公需受注を目指している会員組合を対象とした官公需受注対策懇談会を開催しました。

懇談会では、初めに、先進事例紹介として、全国官公需適格組合受注確保協議会の副会長で、相模原事務用品協同組合(神奈川県相模原市)元理事長の浦上裕史氏を講師に、「官公需適格組合制度を活用した受注拡大について」と題して、以下のような講演が行われました。



【講演する浦上裕史氏】

○組合設立の経緯について

本組合は「官公需」の受注を目的として、平成5年3月に設立されました。設立のきっかけは、当時、相模原市内に公立の小中学校が100校以上有り、個別にメーカー・問屋から仕入れ、納品することが交渉力の点で不利であったため、市内の中小企業が集まって組織化し、受注の確保に繋げようとしたことです。

○官公需適格組合証明の取得と効果について

協同組合の設立後、官公需適格組合証明を取得するには、受注実績が必要であったため、商工会議所等の仕事を受注しました。そして、組合設立から3年後の平成8年4月に官公需適格組合証明を取得しました。その後の受注実績については、相模原市の信頼を獲得し、現在も順調に推移しています。

○官公需共同受注事業を実施したことによる効果について

その結果として、受注の多くは随意契約となっています。また、組合では、日頃から地元業者として、行政庁への協力を惜しまないようにするとともに、地域の中小企業者として、地元深く浸透し、地元の発展に貢献するために努力しています。これにより、地域貢献に対する意識が高まり、仕事のモラルが向上しています。

○官公需受注を目指している組合の皆様へ

仕事を取るためには、自分なりに戦略を考え、相手が求めているものが何かを研究する必要があります。また、行政に対して、他の地域で実現できている受注事例等を自分達で調査し、地元の役所に提案していくことが重要です。



【横手会場】

講演の後、懇談が行われました。両会場で出された主な意見・要望等は以下のとおりです。

～主な意見・要望等～

【印刷業】

当組合では、中央会の協力等もあって、県の印刷物の分離発注を実現させることができた。今後も自らも調査・研究等の勉強をしつつ、中央会を活用しながら、行政機関からの発注を定着させ、業界を発展させていきたい。

【電気工業業】

取得要件が厳しいので、「準」官公需適格組合の制度があれば良いと思う。また、更新時の申請書類の簡素化を求めたい。今後は、仙北市でも街路灯のLED化が始まるので、当組合としてもエントリーしたい。

【石油小売業】

現在、県・市町村等を含む51団体と随意契約を締結しており、県の発注に関しては、本庁については、随意契約となっているが、各地域振興局については、随意契約となっていないため、現在、精力的に各地域振興局を回って要望活動を行っている。

【生コンクリート製造業】

当組合では、火力発電所で燃焼させた後の石炭灰(フライアッシュ)をコンクリートに混合した生コンクリートを生産・提供しており、アスファルトより、塩害への耐性もあることから、関係機関へのPRを引き続き行っていきたい。

行政へは、安売り競争にならないよう、適正な価格設定と品質の良い建物建築が可能となるような管理の方法をお願いしたい。



【北秋田会場】

TOPICS 2 農商工商品化研究開発事業を開催

8月8日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「農商工商品化研究開発事業」における第1回研究会を開催しました。本会では、平成23年度及び24年度において農商工連携に取り組む人材の育成と人的ネットワークの構築等を促進すべく、基本的な知識から実践的なノウハウまで習得できる「農商工連携スクール」を開催してきました。本事業は、そのスクールの中で企画されたアイデアを形にし、新商品として販売することで地域の活性化に寄与することを目的に実施するものです。

第1回研究会では、株式会社パイロットフィッシュ代表取締役社長五日市知香氏を講師に迎え、2つの試作品に対して商品化に向けた課題の抽出や改良に向けたアドバイスをいただきました。

このうち、八峰町の株式会社鈴木水産と地元のパン屋が連携して開発した「ハタハタバーガー」(仮称)の試作品に対しては、「今のサイズだとパンズが多すぎて、多くの種類を少量食べたい消費者が集まるイベントでの販売では敬遠されることが予想される。実際の販売シーンをイメージしながら、食べやすさも考えて量目を調整したらどうか。」等のアドバイスがありました。

今後は、本会会員である食品製造業組合や小売業組合との連携も図りながら試作開発、テストマーケティング等を進め、平成26年2月には完成発表会を開催する予定となっています。

【今回の試作品】

試作品①八峰町の(株)鈴木水産が地元のパン屋と連携して開発するハタハタバーガー

試作品②仙北市のランドクリエイト(株)が(株)安藤醸造の味噌を利用して開発する紅マスの加工品



【試作品①ハタハタバーガー】



【試作品②紅マスの加工品】

本会では、平成26年度に本会の助成事業を実施する会員組合等を次のとおり募集します。助成事業を希望される組合は、**9月19日(木)**までに本会事業振興部又は各支所へお申し込み下さい。

(※なお、事業名や助成金額等が変更になる場合もございますので、ご了承下さい。)

1 組合及び組合員が抱えている課題等の解決に取り組みたい

組合活力向上事業

組合及び組合員企業が抱えている課題等について、必要に応じて専門家とともに集中的な支援を行いその課題解決を図り、組合活力の向上に結びつけることができます。

【平成25年度実施組合】

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| ・秋田家電事業(協) | ・(企)秋田福祉サービス | ・(協)Mag |
| ・秋田県自動車車体整備(協) | ・秋田県パン(協) | ・鹿角自動車工業(協業) |
| ・大曲自動車整備(協業) | ・秋田県電気工事(工) | ・秋田県自動車整備(商工) |
| ・秋田市豊業(協) | ・臨海食品(協業) | ・秋田県印刷(工) |
| ・秋田県ニット工業(協) | ・大館曲げわっぱ(協) | |

【補助率】

- ・補助率 3 / 4 (自己負担 1 / 4) ※平成25年度より補助率が変更されました。

2 若手の人材育成を図りたい

組合青年部研究会事業

今後の中小企業を担う若手経営者等で組織された組合青年部が、時代の要請に応じたテーマについて調査研究を行い、組合の青年部活動を促進する場合、その事業費の一部を助成します。

【平成25年度実施組合青年部】

- | | |
|------------------|------------------|
| ・大館管工事業(協)青年部水青会 | ・湯沢市柳町商店街(協)青年部 |
| ・秋田県型枠工事業(協)後継者会 | ・秋田県再生資源(商工)青年部会 |

【補助率・補助金の額】

総事業費の3 / 4で上限20万円とします。

なお、研修会事業費・視察研修事業費については、それぞれ制約がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

事業計画の作成や進め方あるいは掲載事業以外で取り組みたい内容がございましたら、本会事業振興部又は各支所にお気軽にご相談下さい。

【申し込み・お問い合わせ】

- 本会事業振興部 商業振興課・工業振興課 ☎018-863-8701
- 大館支所 ☎0186-43-1644
- 横手支所 ☎0182-32-0891

～平成24年度組合資料収集加工事業報告書の概要～

本企画では、全国中央会発行の「中小企業と組合(7月号)」に掲載された『先進事例を読む』の内容から、役立つ情報を紹介します。

はじめに

全国中央会では、中小企業や中小企業組合関係者が、新たな共同事業の実施や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、都道府県中央会と連携し、毎年テーマを決めて共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例を収集している。昭和57年度より事業がスタートし、これまでに収録した組合事例は延べ5,900組合超に上っている。

平成24年度は「ソーシャルビジネス」「地域資源の活用」「ものづくり」「エネルギー対策」の4テーマを取り上げ、詳細な調査・分析を行い、これをもとに組合事例のエッセンスを『先進組合事例抄録』として延べ84組合の事例を取りまとめた。本年度の概要を以下のとおり報告する。

1. ソーシャルビジネスに取り組む組合

ソーシャルビジネスとは、さまざまな社会的課題(高齢化問題、環境問題、次世代育成など)を市場として捉え、その解決を目的とする事業として、社会性、事業性、革新性の3つを要件にする事業と概念整理がされている(平成23年3月「ソーシャルビジネス推進研究会報告書」)。

ソーシャルビジネスの推進により行政コストが削減されるのみならず、地域における新たな起業や雇用の促進等地域活性化策として注目されており、近年、中小企業においても、企業組合や事業協同組合を活用して事業に取り組んでいるケースが増えている。

子育て支援、高齢者介護、障害者就労支援等を目的とする組合等21事例が寄せられた。健軍商店街振興組合(熊本県)では、医療関係団体と商店街の連携(医商連携)により「熟年者や障害者も健常者と同時に安心して暮らせる」モデル性の高い街づくりと子育て支援に取り組んでいる。

社会的課題を継続的に解決し、組織の「志」を貫くために、資金調達を多角化していく必要性が指摘されている。

2. 地域資源の活用に取り組む組合

地域・地場産業は、地域経済を支える大きな柱の一つであり、地域経済の発展に不可欠である。

各地域の強みである農林水産品、鉱工業品及びその生産技術、観光資源の3類型からなる地域資源を活用して新商品の開発等を行う「中小企業地域資源活用促進法」が平成19年に施行され、各中央会が新連携、農商工連携、地域資源に日頃から支援を行っていることもあり、4テーマの中でもっとも多い39組合が報告された。

新商品開発の事例として、あおもり藍産業協同組合(青森県)では、青森の藍を新たな技術により、磨き上げられた商品を域外に販売し、産業化を目指す「地域のちから」が結集され、「地域資源活用プログラム」のベストプラクティス事業としての地位を確立した。

3. ものづくりに取り組む組合

ものづくり基盤技術や伝統的技術を基盤として、組合が中心となって新商品開発やデザイン開発等を実施している組合等12組合の事例が紹介された。組合の取組み内容をみると、ものづくりというわが国経済の基盤をなす産業にかかわる分野の取組みらしく、IT等の新たなテクノロジーを導入したものなど真摯で堅実なものが多く、①防災対策用品など新たな製品の共同開発、②若手人材の育成など技術高度化に向けた教育研修、③アンテナショップの運営など新たな販路開拓・PR事業、④海外に組合が共同工場を建設するなどの共同工場・情報システムの4つに分けられる。

ものづくり高度化に向けた教育研修の事例としては、静岡県溶接工業協同組合(静岡県)では、溶接技術・技能に関して体系化を図って研修会を開催することにより、若者のものづくり離れ、熟練技術者の技能伝承に努め、組合員の高い技術力を維持している。

情報システムの構築の事例としては、富士製紙企業組合(徳島県)では、組合設立60周年を迎え、熟年者の技術の伝承問題対応、顧客重視の観点から各種生産システム構築が急務となっていることから、ICTを活用した

生産システムを構築している。

4. エネルギー対策に取り組む組合

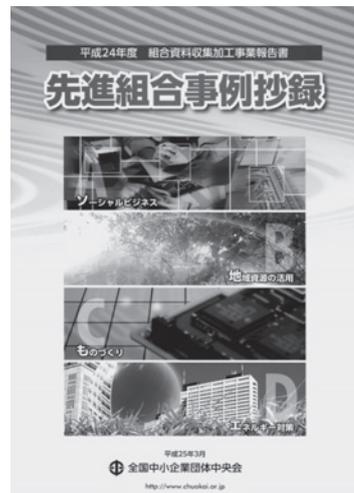
東日本大震災に端を発した電力供給不足や今後地震等による災害が発生した場合に備え、各組合ではそれぞれエネルギー対策事業の実施を目的に設立された組合もある。

組合が実施しているエネルギー対策は次の5つの分野に分けられる。①太陽光発電等の「再生可能エネルギー事業」、②リサイクル等の環境負荷を軽減する「省エネルギー事業」、③国内クレジット制度等の「CO2削減事業」（「中小企業と組合」7月号p3参照）、④エコアクション21の認定登録等の「エネルギー対策」に関する自主行動計画策定、⑤その他のエネルギー対策である。

全国から12組合の事例があげられ、各組合のエネルギー対策を見ると、先にあげた5分野が相互に重複したり、関連している。

再生可能エネルギー事業の事例として、能代森林資源利用協同組合(秋田県)では、全国初の協同組合方式でのバイオマス発電事業を実施し、組合員から出されるスギ樹皮や端材等を木質バイオマス発電により再生エネルギー化し、組合員等に供給している。

また、桐和金属協同組合(群馬県)は、エコアクション21活動を推進する中で、共同受電のデマンド監視装置の導入により、組合事務所でリアルタイム監視を行い、総電力消費を削減し、15%の削減目標を達成した。



全国中央会発行
「先進組合事例抄録」

会員組合探訪

秋田県保険代理業協同組合

■組合の紹介

秋田県保険代理業協同組合は、保険サービスの自由化に伴う業者間の競争激化により、経営が圧迫されていた中小零細代理業者の生き残りを図り、共同事業の実施による経営効率化や体質改善を目的として、平成10年4月に設立されました。

設立後は、主に資材の共同購買や保険の販売促進及び教育情報事業等を行ってきました。

■主な事業の内容とその成果

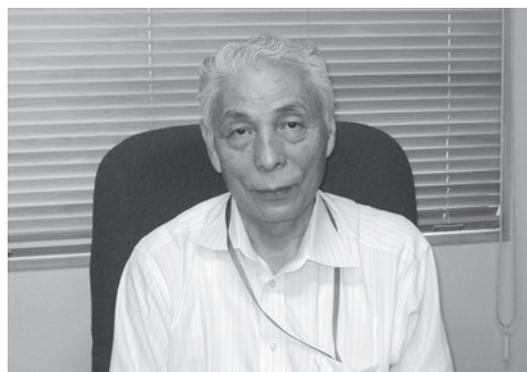
本組合は、設立後目標としてきた共同受注事業の実施に向けて組合で調査研究を続けた結果、今年1月に定款変更を行い、保険契約の共同受注事業を追加しました。これにより、組合が目指してきた公的マーケットへの参入が実現し、その最初のステップとして県内高校生を対象とした「高校生総合補償制度」を組合で取り扱うことになりました。

この補償制度の取り扱いについては、保険会社から「秋田県保険代理業協同組合の組合員であること」という条件が付されたため、組合加入のメリットが明確化したことで、組合員が大幅に増加し、全県を網羅する代理店網が実現しました。また、本組合への加入にあたり、厳しい選定基準をクリアした代理店のみを組合員として認めることにより、質の高い保険代理店が集まり、信用度が向上しました。

この補償制度の取り扱いについては、保険会社から「秋田県保険代理業協同組合の組合員であること」という条件が付されたため、組合加入のメリットが明確化したことで、組合員が大幅に増加し、全県を網羅する代理店網が実現しました。また、本組合への加入にあたり、厳しい選定基準をクリアした代理店のみを組合員として認めることにより、質の高い保険代理店が集まり、信用度が向上しました。

■今後の展開

工藤理事長は、「今後、その他の公的マーケットへの参入を目指す他、各種保険の付加価値サービスにも取り組んでいく」と述べ、共同受注事業を組合の主力事業として、今後も積極的に展開していくことにしております。



【工藤和夫理事長】

【組合の概要】

- 所在地 秋田市山王六丁目5番9号
- 代表理事 工藤 和夫
- 出資金 3,050,000円
- 組合員数 16名
- 主な事業 共同受注、共同購買、共同宣伝
- 成立年月日 平成10年4月1日

景況レポート

(7月分・情報連絡員80名)

DI値が9年ぶりの水準に回復

【概況】7月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが15.2%(前月調査16.5%)、「悪化」が34.2%(同36.7%)で、業界全体のDI値は-19.0と、前月調査と比較して1.2ポイント上回り、平成16年7月以来のマイナス10台となった。

内訳として、製造業全体のDI値は-12.9で前月調査と比較して3.5ポイント下回り、非製造業全体のDI値は、-22.9で前月調査と比較して4.8ポイント上回った。

消費税増税前の駆け込み需要と思われる個人住宅や民間の建築工事に加え、公共工事が本発注となったこと等により、鉄鋼、木材・木製品、建設業等で受注が増加している。しかし、円安、原油高によるコストアップが収益を圧迫しており、また電気料金の値上げ等も先行きの不安材料となっていることから、人員の増加や設備投資に慎重になっている姿勢が見受けられる。

(回答数：79名 回答率：98.8%)

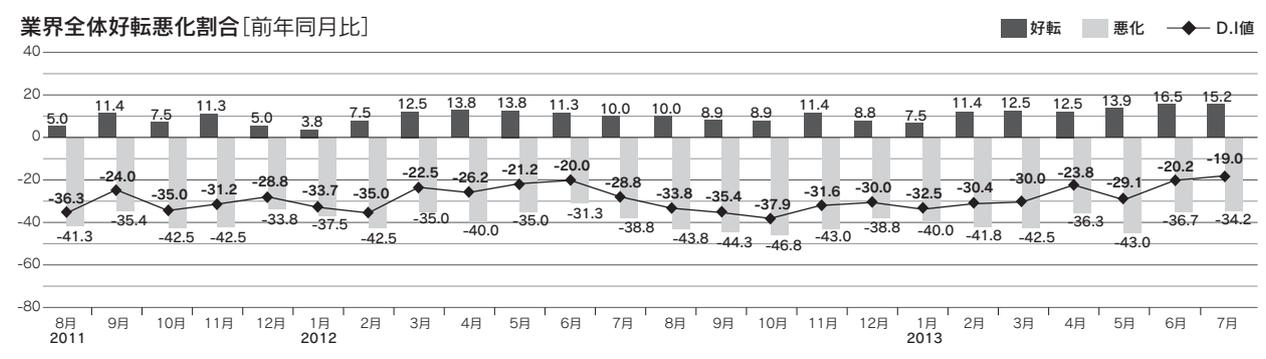
項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☁	☁	☁	☔	☔	☁
非製造業	☔	☔	☁	☔	☔	☁

【凡例】

快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	くもり △10以上 10未満	雨 △30超 △30以下

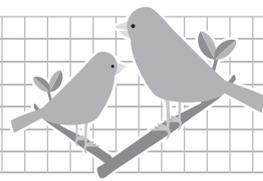
【天気図の見方】
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。



業界の声

- パン製造** 小麦粉等の原材料が高騰しているが、価格に転嫁できているのは一部商品のみとなっている。また、天候等の影響により売上も前年を下回っている。
- 繊維製品**
 - ・円安及び海外生産のコストアップにより国内生産が増加しているものの、工賃の上昇幅は少なく、生産ロット数が減少傾向にあるため、収益は改善されていない。
 - ・紳士服の売上は前年同月比で横這いの状況となっているが、9月からの電気料金値上げの影響が懸念される。
- 木材・木製品**
 - ・消費税増税、長期金利の上昇、木材利用ポイント制度等の影響により、住宅着工戸数が増加傾向にあり、柱材の動きが活発である。
 - ・輸入合板の荷動きは一服状態が続いているが、国産針葉樹合板は、一部在庫調整の動きが見られるものの、出荷は好調を維持しており、価格がじり高傾向にある。
- 鉄鋼** 仕事量が急激に増加してきて、各社10月頃までは受注で埋まっており、一部仕事を断らなければならない状況となっている。
- 自動車販売** 7月の新車販売台数は、登録自動車が2,665台(前年同月比96.9%)、軽自動車が2,541台(同94.9%)で、合計5,206台(同95.9%)であった。
- 石油販売** ガソリン1ℓあたり157円30銭で前月比7円80銭の上昇、軽油1ℓあたり138円で前月比5円40銭の上昇となった。卸価格、小売価格ともに4週連続の値上げとなるが、仕入れ価格の上昇分に対し、転嫁が不足していることから、収益が悪化している。
- 商店街** 当商店街では、集客力不足もあるが、円安の影響による原油価格の高止まり、小麦、包装資材他の値上げ等により、小売業は大変厳しい状況にある。消費者側は、所得が上がらない中で、買い控えの傾向が続いている。(秋田市)
- 一般建築** ようやく本発注が開始受注件数も多くなってきたが、最低制限価格での入札や資材等の値上がりにより、本当の意味での景気回復とはなっていない。また、先行きも不透明なことから、設備投資等の判断が難しい。
- 型枠工事** 県内全域において、労務単価が上昇傾向にある。稼働率も高く、工程の調整が行われている現場もある。かつてよりも、元請と下請けの情報交換が密になっているように感じられ、施工体制も充実した内容となってきている。



中央会事業より

第2回スキルアップセミナーを開催

8月23日(金)、秋田県商工会館において、第2回スキルアップセミナーを開催し、会員組合等から21名が参加しました。

本事業は、組合運営の要となる事務局役職員の資質向上を図り、組合の活性化に資することを目的として、様々なジャンルの講師を招いて4回開催するものです。

2回目となる今回は、「金融・資金調達」をテーマに、秋田県信用保証協会経営支援課副長里見英輝氏及び商工中金秋田支店営業第二課長中山貴嗣氏より、「信用保証協会の活用方法」や「融資を受ける際のポイント」等についてお話いただきました。その中で「自社の正確な情報を開示すること」、「毎月の試算表を速やかに作成し、自社のタイムリーな数字を把握すること」、「金融機関との上手なつきあい方」等についてのアドバイスがあり、参加者は熱心に聴講しました。

次回は9月20日(金)にAAB秋田朝日放送コンテンツ局シニアプロデューサー山崎宗雄氏を講師に迎え、「段取り力向上」をテーマに開催する予定です。



【セミナーの様子】

アラカルト ● a la carte ●

■通町コンコンまつりを開催 ～秋田市通町商店街振興組合～

7月27日(土)、秋田市の通町商店街において、「通町コンコンまつり2013」が開催されました。このイベントは、秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)が、多くの方に通町商店街を知ってもらおうと、「地域商店街活性化事業」を活用して開催したもので、「コンコン」にはキツネの鳴き声と千客万来の「来来」の二つの意味が込められています。当日は、通町商店街を歩行者天国にして、秋田竿燈まつりや湯沢七夕絵どうろうなどの秋田の夏祭りをはじめ、参加型スポーツイベントやキツネカフェ等の飲食店が登場するなど、多くの人が来街し、通町をぶらり歩きながら楽しむ光景がみられました。



【イベント会場の様子】

■南通街区親子ふれあい夏祭りを開催 ～秋田市南通商店街振興組合～

8月17日(土)、秋田市の南通商店街において、「南通街区親子ふれあい夏祭り」が開催されました。このイベントは、秋田市南通商店街振興組合(三戸俊信理事長)が、地域住民同士のふれあいを通し、地域商店街の活性化を図るために「地域商店街活性化事業」を活用して開催したもので、当日は、同組合青年部が中心となり、なまはげ太鼓ショーや竿燈の実演などが行われたほか、飲食業を営んでいる組合員が屋台を出店しました。今回は、高齢者に配慮したシルバー席を設けるなど、老若男女の誰もが楽しめる夏祭りとなり、多くの人で賑わいました。



【イベント会場の様子】

■高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラムinあきたが開催される

7月27日(土)、秋田県庁正庁において、秋田県と秋田日本海沿岸東北自動車道早期建設期成同盟会の主催による「高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラムinあきた」が開催され、佐竹敬久秋田県知事をはじめ、国会議員や経済団体の代表者等が多数出席し、本会からは塩田会長が出席しました。

挨拶をした本県選出の国会議員は、「日沿道の遊佐ICから象潟ICまでの新規事業化、東北中央道の新庄市昭

和ICから雄勝こまちICの計画段階評価に向けた調査の実施等、未開通区間解消への機運が高まっている。国土強靱化に向けて官民一体となって取り組むべきである。」と述べました。その後、元ラグビー日本代表の吉田義人氏による基調講演や、大館・にかほ・湯沢の3市の経営者から意見発表が行われ、交流人口の拡大と観光客数の増加のために高速道路の早期整備を望むことなどが述べられ、最後に早期整備を求める大会決議案が発表され、採択されました。



【フォーラムの様子】

■東北ブロック自動車整備協業協同組合連絡協議会通常総会が開催される

8月22日(木)、秋田市のさとみ温泉において、東北ブロック自動車整備協業協同組合連絡協議会(千葉榮太郎会長、会員34組合)の第38回通常総会が開催され、関係者ら91名が出席しました。

通常総会では、千葉会長の挨拶後、議案の審議を行い、全ての議案が承認された後、本会塩田会長などから来賓祝辞があり、続いて、長野県の飯山自動車協業組合の服部専務理事より「協業組合と員工場を結ぶIT活用による業務効率化」をテーマに記念講演が行われました。服部氏は、「各組合員工場において、情報ネットワークシステムを活用して、作業進行状況等の情報を共有することにより、作業の効率化が図られ、コスト削減につながる。」と強調され、出席者は熱心に耳を傾けていました。



【通常総会の様子】

■独身者の交流会を開催 ～協同組合秋田卸センター～

7月25日(木)、秋田市の秋田卸センター会館において、独身者の交流会が開催されました。この交流会は協同組合秋田卸センター(桑原功理事長)の独身男女交流委員会が主催したもので、23名が参加しました。

当日は、5つのグループに分かれて、そば打ち体験が行われ、生地をつくる作業から始めました。グループごとの共同作業を通じて、参加者同士が次第に打ち解けて、積極的な会話がなされるようになりました。その後、ゆであがったそばを参加者全員で食しながら、会話を楽しむなど、参加者からも、大変楽しかったと好評でした。

組合では、今後もこのような交流会を行い、独身男女の出会いの場を提供していく予定です。



【そば打ち体験をする参加者】

中小企業組合等支援施策情報

■平成25年度産学官連携促進事業への参加機関の募集について【秋田県】

秋田県では、県内の研究機関の横連携による研究開発を活性化させ、県内企業へ付加価値の高い技術を移転し、新産業等の創出を行い、県内産業を振興することを目的に、研究開発資金を提供します。

○実施機関：民間企業・組合・公益法人・大学等公的試験研究機関等
(※県内に本社、支社、工場又は研究施設を有する団体)

○事業内容：コンソーシアムが実施するプロジェクト

○委託費：600万円/年

○公募締切：平成25年9月13日(金)

【お問い合わせ先】秋田県企画振興部学術振興課 科学振興・産学官連携班 ☎018-860-1262

■中小企業災害復旧資金の金利引き下げについて【秋田県】

秋田県では、災害(集中豪雨、土石流等)によって事務所または事業所が罹災した方の復旧を支援する中小企業災害復旧資金貸付を行っておりますが、この度、8月9日の豪雨が激甚災害に指定されたことに伴い、金利の引き下げを行います。

融資限度額	1,000万円	保証料	0%(秋田県が全額補給します)
資金用途	運転及び設備資金	保証人	法人は代表者、個人は不要
貸付期間	10年間(据置期間1年)	対象者	県内で1年以上事業を営んでいる方
金利	1.75%(※1.55%)	必要書類	市町村から発行される「罹災証明書」

※太字の部分は平成25年8月9日の大雨による災害の場合

【お問い合わせ先】秋田県産業労働部産業政策課 団体・金融班 ☎018-860-2215
秋田県信用保証協会 本所 ☎018-863-9011

※なお、本会においても「平成25年8月9日からの大雨等による災害に関する特別相談窓口」を設置していますので、お気軽にご相談ください。

支援団体活動レポート

通常総会・成果報告会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

7月22日(月)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県中小企業青年中央会(佐藤幸樹会長)の平成25年度通常総会及び成果報告会が開催されました。

通常総会では、平成24年度の事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成25年度事業計画(案)、収支予算(案)等が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

引き続き、組合青年部研究会事業(中央会補助事業)成果報告会が開催され、昨年度実施した3組合青年部から、先進事例視察等で学んだことや今後の活動にどう活かすか等について発表が行われました。出席者からは積極的に質問が出されるなど、有意義な報告会となりました。



【通常総会の様子】

通常総会・研修会を開催 ～秋田県異業種交流倶楽部～

7月25日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県異業種交流倶楽部(齊藤健悦会長)の平成25年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

通常総会では、平成24年度事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)等が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

引き続き、研修会が行われ、岩手大学工学部応用化学・生命工学科教授の清水健司氏を講師に、「これからの持続可能な社会構築へ」と題して講演が行われました。清水氏は、「これからは、持続的循環型社会の一員としての事業活動が求められる。循環型の商品づくりの視点を持ってほしい。」と述べ、受講者は熱心に耳を傾けていました。



【研修会で講演する清水教授】



組合ティールーム

秋田県生コンクリート工業組合

理事長 村岡 兼幸さん

○業界の現状について

当組合は、県内生コンクリート(以下「生コン」という)業界の改善発展を目的として昭和48年に設立され、主に、品質確保を目的とした生コン強度検査事業や教育情報事業を行っています。

近年は、公共工事の発注件数がピーク時の半分～3分の1程度となっており、基礎資材である生コンの出荷数量も同様に推移しています。そのような状況においても、生コン業者は、基礎資材産業として、高度な知識の下で高品質な生コンを安定供給することが求められています。特に大震災以降は、「コンクリートは人を守る」を合言葉に、安全・安心な国土をつくる上で欠かせない建設基礎資材として、コンクリートの重要性が高まっています。

○理事長としての抱負について

生コンの一番の購入先である建設業者には、適正な価格への理解をお願いしております。私自身も建設業者の役員を努めておりますが、建設業に関わる全ての業界が健全に発展していけるよう、適正な競争と協調を大切にしていきたいと考えています。

また、当組合では、生コンの安定供給のため、協同組合が現在設置されていない地区の組織化を推進しており、今後も組合設立に向けて働きかけていきたいと思っております。

また、各工場同士の交流を活発にして、互いに研鑽を積み、業界全体の資質向上を図ってまいります。

○座右の銘について(普段心がけていること)

「一期一会」を大切にしています。この言葉には非常に重みを感じます。実は、縁があって茶道裏千家の秋田支部長をしており、たまに茶会に出席しますが、そこで、もてなす側ともてなされる側の空間づくりなど、茶道の精神を学んでいます。また、茶会が「縁」となり「一期一会」のつながりもできていきます。これからも一つひとつの出会いを大切にしていきたいと思っております。

○趣味について

趣味はゴルフです。45歳の時に始めて、今年で12年目になります。ハンデは17まで来ましたが伸び悩んでおります。プレーを通じて、交友関係が広がり、ゴルフ仲間もできました。ゴルフの最も好きなところは、大自然に身を委ねる感覚で、コースのまわりに生育する植物や木々から季節を感じられるところです。数あるスポーツの中でも審判がいないのは、ゴルフくらいだと思います。英国紳士のスポーツらしく、自己申告制であり、マナーを重んじている点が興味深いところです。



ものづくり展示ホール第10回企画展の開催について【秋田県】

秋田県では、ものづくり展示ホール第10回企画展「MADE IN AKITAの飛躍2013」を開催中です。今回は二部構成で開催されており、第一部では品質にこだわったものづくりをしている県内16社の製品が展示されました。

9月9日(月)からは第二部として、県立大曲技術専門校の学生が制作した「大曲テクノツリー」の展示が行われます。この機会に是非、ご覧下さい。

○開催日：9月9日(月)～9月25日(水)

○開催場所：県庁第2庁舎1階「ものづくり展示ホール」

○開催時間：9：00～17：00(休館日：土日祝日)

【お問い合わせ先・連絡窓口】秋田県産業労働部産業政策課企画班 ☎018-860-2214

個人住民税における特別徴収の一斉実施について【秋田県】

秋田県と県内すべての市町村から事業主の皆様へ重要なお知らせです。

「所得税は源泉徴収しているが個人住民税の特別徴収はしていない」ということはありませんか？

県内すべての市町村では、個人住民税について**平成26年度**から特別徴収を一斉実施します。

個人住民税の特別徴収は、所得税の源泉徴収と同様に、給与支払者(事業主)が、給与所得者(従業員)に毎月支払う給与から個人住民税を特別徴収(天引き)し、納税義務者である従業員に代わって、各従業員のお住まいの市町村に納入していただく制度です。

※地方税法第321条の4の規定により、所得税を源泉徴収する義務のある給与支払者(事業主)は、個人住民税を特別徴収していただく義務があります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】お近くの市町村税務担当課または秋田県税務課市町村税政班 ☎018-860-1152

平成25年度労働関係助成金説明会・相談会を開催【秋田労働局】

秋田労働局、秋田県、労働関係団体は、助成金の説明会・相談会を県内4ヶ所で開催します。

企業の実務担当者・経営者・コンサルタントの方など、たくさんのご参加をお待ちしております。

○開催日・会場：9月24日(火) 横手市交流センター(YYプラザ)

9月26日(木) 由利本荘地域職業訓練センター

9月27日(金) 北秋田市交流センター

9月30日(月) 秋田県産業技術センター

○開催時間及び内容：全体説明会 13：15～ 参加各団体の担当者から、助成金の概要及び活用方法についてわかりやすく説明します。

個別説明会 15：15～ 参加各団体ごとに「相談コーナー」を設け、個別相談に応じます。

【お問い合わせ先・お申し込み先】秋田労働局職業対策課雇用開発係 ☎018-883-0010

平成25年度 中小企業組合検定試験の受験者の募集について【全国中央会】

本会では、平成25年度中小企業組合検定試験の受験者を募集します。

本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は「中小企業組合士」として認定されます。現在、全国で約3,300名の方が中小企業組合士として事業協同組合、商工組合等の中小企業組合や商工組合中央金庫、中小企業団体中央会等で活躍しています。

中小企業組合士は、組合運営のエキスパートです。あなたのチャレンジを期待しています。

なお、11月中旬には、受験対策講座を開催する予定ですので、奮ってお申し込みください。

○試験日：平成25年12月1日(日)

○試験会場：秋田市内

○試験科目：組合会計、組合制度、組合運営(3科目)

○受験料：5,000円(一部科目免除者は3,000円)

○申込締切：平成25年10月15日(火)

【お問い合わせ先】本会企画広報課(☎018-863-8701)

秋田流通サービス事業協同組合

(株)出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
(有)川津商事	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	姉崎商運(株)	(株)三ウラ産業
(株)仙建	豊幸商事運輸(有)	日通横手運輸(株)
(有)藤原運送	ヨコウン(株)	大曲小型貨物自動車運送(株)
角間川運送(株)	田沢湖運送(株)	十文字運送(株)
エコー運輸(株)	湯沢運送(株)	川連運送(株)
(株)岡部興業	(有)北國急行	(株)美郷運輸

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

総合物流サービス業

YOKOUN

ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町 8 番 14 号 ☎0182-32-3667 Fax32-5672
http://www.yokoun.co.jp http://www.facebook.com/yokoun

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 山岡緑三郎
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

リース・保険で
安心と安全をお約束



株式会社
北日本リース
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社
北日本ベストサポート
TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内



トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

秋田県葬祭業協同組合

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3
TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531
ホームページ http://www.towany.com

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ

秋田キャッスルホテル

進化と深化。



Akita
Castle Hotel

秋田市中通一丁目3-5 Tel:018(834)1141 www.castle-hotel.jp

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

新型定期預金

マイハーベスト

安心・確実に増やしたい方へ、おすすめの定期預金です。

●販売対象●

個人のお客様を対象とします。

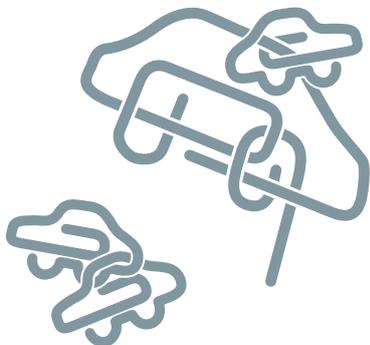
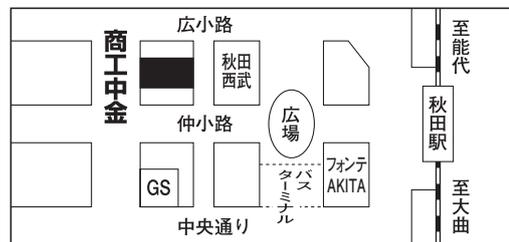
●預入方法●

- (1) 預入方法 一括してお預け入れいただきます。
- (2) 預入金額 50万円以上
- (3) 預入単位 1円単位
- (4) 預入限度額 ありません。

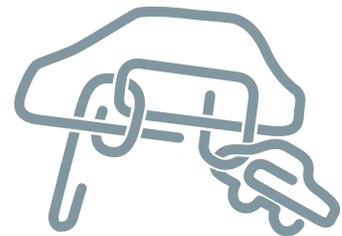
人を思う。未来を思う。

商工中金 秋田支店

〒010-0001 秋田市中通2-4-19 ☎018(833)8531



経営理念 協同



創立50周年

秋田県トラック運送事業協同組合

(設立:昭和38年10月28日)

理事長	齊藤 正敏	(株)八幡平貨物
専務理事	梅村 春男	米代トラック(株)
理事	藤原 菅也	秋田港北トラック(株)
〃	西宮 公平	秋田海陸運送(株)
監事	鈴木 淳士	東北名鉄運輸(株)

〒010-0061 秋田市卸町1-3-2
TEL.018-823-8192(代)
FAX.018-863-1879

創立20周年

秋田県物流センター協同組合

(設立:平成5年11月18日)

理事長	齊藤 正敏	(株)八幡平貨物
副理事長	佐藤 利雄	(株)丸五急送
〃	小林 誠	第一道路運送(有)
専務理事	梅村 春男	米代トラック(株)
理事	藤原 菅也	秋田港北トラック(株)
〃	西宮 公平	秋田海陸運送(株)
〃	小沼 廣慈	(有)小沼運輸
〃	車屋善次郎	(株)トランスポート秋田
〃	鈴木 淳士	東北名鉄運輸(株)
監事	伊藤 安夫	(株)仙北運輸
〃	畠山 洋子	(株)八森運輸